

令和2年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

豊かな心で、自ら考え行動できる子の育成

2 今年度の学校重点目標

新しい教育の創造～THE CHANGE IS A CHANCE～
 (1)よい授業づくり(新学習指導要領に対応した授業～アクティブ・ラーニングの意識化～)
 (2)よい授業の土台づくり(誰もが安心でき、笑顔で1日を終える)
 (3)よい学校生活の習慣づくり
 (4)よい学校のための環境づくり(安全・機能・美観)

3 総合的な自己評価

アンケートの結果では、児童・保護者の多くが学校生活や友だちに関する設問に肯定的な評価をしている。また、児童のアンケートからは各教科の学習に意欲を示している様子、行事に向けて目標を持ち、意欲的に取り組もうとする姿が見られる。一方、少数だが学校が楽しいとは言えない児童もおり、一人一人の内面理解に留意しながら、新たな教育課程をさらに見直し、工夫した授業作りと学校行事の再構築に向けて取り組みます。

4 総合的な学校関係者評価

コロナ禍で今まで通りの交流はできなかったが、登下校の見守り等で挨拶を交わし、心を通わせることができた。今後も学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが「学校が楽しい」という気持ちで日々の学習活動や学校生活が送れるように協力をしていきたい。

5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信と情報収集について	定期的、臨時的に学校だより、保健だより、学年通信、HP等を通じて家庭や地域への情報発信に努めた。アンケートにより、意見集約を行い、次年度に向けての確認ができた。	今後も継続して実施するとともにコミュニティスクールや地域行事において積極的に情報発信していく。	学校便り等を通じて学校の取組や児童の様子が伺えるので学校に通っている子どもがいなくても学校の様子が見えてくる。
	住民参加の教育活動について	図書ボランティアや老人クラブ・民生児童委員・地域の方との交流が定着していたが、今年度はコロナ禍の影響によりほとんど交流の場が持てなかった。	今後は地域人材や学校支援ボランティアの活用を継続できるように人材発掘及び連携体制を整える。	地域住民との交流は来年度も実施しにくいですが、交流再開に向けて人材体制を整えるように心がけていきます。
学力向上指導改善プラン	言語活動の充実について	個人思考、ペアトーク、グループトークなど多様な授業形態を工夫することで、自分の考えを深めたり、言語で表現する力をつけようとして実践してきたが、コロナ禍により活動が制限された為に十分力がついたらとは言えない。	ホワイトボードやipadの活用などで授業形態のバリエーションを増やし、思考を深めるための表現の仕方について工夫をすることが必要である。	グループトーク等で考えを深め、授業でipadを活用することは児童の今後の成長に貢献大と思われる。
	基礎学力の向上について	週3回の朝学習で学習習慣が定着してきた。漢字や計算、英語の音声練習(フォニックス)を反復学習することで学びの基礎となる力がついてきている。がんばりタイムの実施で個に応じた指導の充実が図れた。	学習習慣の定着や基礎学力の向上をねらいとして今後も朝学習の活用を図る。がんばりタイムの指導員と担任が連携して個別の力を伸ばしていく。また、放課後の支援も考えていきたい。	コロナ禍での学力向上の指導には大変な苦労があったと推察される。その中で学力向上への工夫が各種試みられていることを高く評価する。
学習指導	授業づくりについて	「めあての提示」「授業のふり返し」が定着し、その取り組みが結果となって表れてきた。	担当者会で得た情報を速やかに共有し、自己の授業改善に役立てる。	社会状況が著しく変化する時代に合わせた授業づくりが大切である。
	指導力の向上について	1年を通して全教員が授業公開を行い、外国語活動を中心に研究授業を実施できた。また、校内での音読指導、英会話、学習評価等のミニ研修会を計画的に実施し、指導力の向上を図った。	指導力向上を図るため、授業研究を実施し、夏季休業中等の研修の場を活用するとともに学習におけるグランドルールの徹底を図る。	学習指導上の様々な改善を試みておられ、今後の成果が期待される。
	学習習慣の確立について	年度当初に、家庭学習の定着・充実のために、学年に応じた手引きを作成し、保護者と意識共有を図っている。家庭学習の定着が困難な児童に対して、放課後等の時間を利用して個別指導を行った。	更に家庭学習及び家庭読書の定着を図るために、家庭学習の手引きの改訂および啓発について検討し、効果的な活用方法を探る。	家庭状況に合わせた指導を考え、学力向上に努力されていることがよく分かる。
特別支援教育	特別支援学級在籍児童についての共通理解と支援体制について	年度初め、年度末に在籍児童の状況について共通理解を図り、個に応じた支援のあり方を確認した。年度末には引き継ぎを兼ね、支援方法等の共通理解に努めている。	児童の引継ぎを丁寧に行いながら、特別支援コーディネーターを中心に個に応じた支援体制を強化する。	しっかり対応してもらっているため今後も継続した取組をお願いしたい。
	普通学級在籍児童で、支援を必要とする児童実態把握と支援について	児童の状況を把握し、保護者と連携しながら巡回相談、教育相談等を活用し進めている。支援体制の確認・児童理解のための研修を年度初め、年度末に行っている。	できるだけ早い時期に児童理解研修を実施し、全教職員の共通理解のもと同じ方向性をもって指導に当たる。	同じ方向性を持って指導に当たれるように支援体制づくりをお願いしたい。
人権教育	子どもたちの人権意識を高める取り組みについて	人権掲示板を活用し、啓発を行った。授業づくりにも力を入れ指導している。やさしさ発見朝会が定着化し、全校生で共有する場が持てた。	やさしさ発見の日(毎月15日)を効果的に活用するための具体策を考えることで人権意識の日常化を図る。	人権は世界共通の課題である。子どもの時からの学びは大人になっても必要となるため、今後もしっかりと指導をお願いしたい。
	保護者への啓発について	学期に1回「人権はさま」を発行し、学年での取り組み内容を伝えている。また、2学期に人権参観日を開催し短時間であったが保護者に見学していただく機会が持てた。	今年度はコロナ禍で開催することができなかったが人権懇談会や研修会で保護者と共に意見交流できる機会を持ち、お互いの人権意識の向上を図る。	子どもだけでなく、保護者・地域等あらゆる人を大切にするという意識を持ち、交流を継続していきたい。
生徒指導の充実	いじめ防止基本方針に基づく予防的生徒指導について	いじめアンケート、QU アンケート、はさまこアンケートの実施により、多角的に児童の現状把握に努めている。毎月各クラスからの報告を情報共有している。	いじめ防止強化週間を設け、学校全体の取り組みを強化するとともに報告・連絡・相談を密に早期対応・情報共有の更なる徹底に努める。	コロナ禍の中で大人が思っている以上に子どもたちは悩んだり、困っている可能性がある。日々子供たちの動向に目を配り、対応してもらえることを期待しています。
	児童についての共通理解と組織的対応について	年度当初に児童理解研修を行い、全教職員の共通理解を図った。組織対応を心がけ、情報の共有と対応の協議を行った。特に朝の保護者からの連絡を重視し、迅速且つ一貫した学校対応を行うことができた。	組織体制を強化し、教職員の共通理解のもと必要に応じて関係機関との連携を図る。	報告・連絡・相談を密にし、早期対応の徹底が大事だと思います。
	基本的な生活習慣と自主性の育成について	コロナ禍での新しい生活習慣の啓発を行い、安心できる環境作りを努めた。コロナ禍により今年度はあいさつ運動を実施できなかった。	学校だより、学年通信、HP等を通じて、積極的な啓発と現状発信を行いながら、保護者との連携を密にし、生活の安定を図る。	登下校等の子どもの様子で気になることがあれば声かけするようにします。

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
1学期	前期児童アンケート・いじめアンケート
2学期	いじめアンケート・QUアンケート(第1回)・保護者対象行事(運動会)アンケート・保護者対象行事(音楽会)アンケート
3学期	後期児童アンケート・いじめアンケート QUアンケート(第2回)・保護者アンケート・教職員による学校評価

7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
7月17日中止	第1回学校地域運営協議会「中止」 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした為、資料を送付した。
12月17日	第2回学校地域運営協議会 授業見学、学校経営、学校行事、学力向上指導改善プラン、学校評価計画、学校と地域との連携等
3月4日中止	第3回学校地域運営協議会「中止」 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした為、学校評価に関する資料を送付し、郵送にて意見を集約した。

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
3月	保護者宛文書	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。保護者配付。	○
3月	学校ホームページ	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います